

# 生活者通信

生活と政治をつなぐ情報紙

No.376  
2023.1.1

## 東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク  
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASK ビル4・5階  
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274  
Eメール tokyo@seikatsusha.net  
URL https://www.seikatsusha.me  
発行責任者 山内玲子  
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417  
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可

### 生活者ネットワーク3つのルール

**1 議員は交代制(ローテーション)**  
生活者ネットワークの議員は、交代制。議員を職業化、特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

**2 議員報酬は市民の政治活動資金に**  
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

**3 選挙はカンパとボランティアで**  
選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や努力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

生活者ネットワークは東京都内34の自治体にあり、都議1人、市・区議41人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。**東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。**



●今年の漢字は「戦」。私にとっても、今年は「戦」の年でした。10月に落選、12月に首長の再選挙にもなる区議会議員補欠選挙、初選挙＝2回連続の選挙となりました。「地域から政治を変える」選挙戦で訴えてきた信念です。地元、生活者の声を議会に届けていきます。<いながき孝子>



### 品川区議会議員補欠選挙

2022年12月4日投票

稲垣孝子 新 17,808票 2位 当選  
定数2 立候補者7 投票率32.82%

**品川**  
品川区議補選勝利！交渉会派として新たなスタートを切りました  
2022年12月4日。品川区長選再選挙にともない行われた

2度目の区議会議員補欠選挙において、品川・生活者ネットワーク新人のいながき孝子が当選し、区議会に3つ目の議席を確保しました。品川区議会における交渉会派として、大きく新たな一歩を

踏み出しました。政治は生活を豊かにするための道具。地域から、誰もが「私らしく生きるための政治」を実践していきます。  
品川・生活者ネットワーク代表 井上八重子

# 12・4品川区議補選…いながき孝子 12・25西東京市議選…かとう涼子 後藤ゆう子——全員当選！

昨年12月4日投票で行われた、品川区議会議員補欠選挙(定数2)で、品川・生活者ネットワークの新人、いながき孝子は、1万7808票を獲得、2位で当選した。品川・生活者ネットワークは、品川区議会に現職2人とあわせて3議席を占めることとなった。  
同じく昨年12月25日投票で行われた、西東京市議会議員選挙(定数28)で、西東京・生活者ネットワークの現職(2期目)のかとう涼子は、2757票を獲得し、3位で当選、同じく現職(2期目)の後藤ゆう子は、2533票を獲得し、6位で当選した。西東京・生活者ネットワークは、西東京市議会に2人の3期目の議席継続を果たした。

## 都議会ネット

■東京都2023年度予算大綱発表。

## 地域ネット

### 葛飾ネット

区議会報告&学習会  
1月14日(土) 14:00～16:00(予定) 金町駅前活動センターカナマチぶらっと(京成金町駅)  
区議会報告:区議会議員沼田たか子/学習会  
生きづらさを抱えた子どもたちのリアルー地域の私たちができること 講師:三枝功侍(NPO法人ハーフタイム理事長) 03-5876-4757

### 江戸川ネット

ひとみとみつえと井戸端会議(毎月第3木曜日)  
1月19日(木) 20:00～ Zoom 江戸川区議の伊藤ひとみ・本西みつえとZoomでのお話し会  
03-5607-5975

### 杉並ネット

荒このみさんに聞く 戦争の話  
1月27日(金) 14:00～16:00 けやきの見える家(西荻窪駅) 講師:荒このみ(東京外国語大学名誉教授、米文学者) 500円(コーヒー、お菓子付き) 要申し込み 03-5377-5080

### 日野ネット

映画「第9条」の上映会&トーク  
2月5日(日) 14:00～16:00 日野市生活保健センター 301・302集会室(日野駅から10分) 500円 042-514-8697

### 品川ネット

2023統一地方選挙 スタート集会(仮)  
2月11日(土) 14:00～15:30 品川中小企業センター大会議室(下神明駅) 03-5751-7105

### 東大和ネット

東大和ネットサロン「子どもたちの食を考える」  
2月12日(日) 13:30～15:30 桜が丘市民センター集会室(西武拝島線玉川上水駅) 学校給食の今と未来・関あや子の子ども心とからだを育むレシピ 300円 042-567-1681

### 杉並ネット

安倍晋三銃撃事件と国葬  
2月18日(土) 14:00～16:00 ウェルファーム杉並第5集会室(荻窪駅) 講師:坪井ゆづる(朝日新聞論説委員) 300円 03-5377-5080

### 西東京

西東京市議選 2議席を継続  
かとう涼子、後藤ゆう子が、3期目の当選を果たしました。HPの充実や、学習会、議会報告会、活動レポート配布など、日頃の活動が信頼につながっていることを実感する毎日でした。選挙期間中は、直接、もしくは電話で「投票してきましたよ」と、嬉しい声を何度も聞くことができました。しっかりと西東京市のまちづくりをすすめてまいります。

西東京・生活者ネットワーク代表 広瀬郁美

●厳しい選挙でしたが、想像を超えるたくさんの方々に応援いただき、私たちネットの活動が地域にきちんと伝わっていると実感できました。市民の皆さんからいただいた、議席をしっかりと生かし、コロナ禍のいまこそ、誰も取り残されない市政を実現してまいります。(かとう涼子)  
●集大成となる3期目は、まずは子ども条例を使いこなす子ども権利を守り、子どもたちが生き生きと育つまちづくりを進めます。国の愚策に反対し、地域野菜の利用率向上や再生可能エネルギーの普及を推進も継続していきます。(後藤ゆう子)



### 西東京市議会議員選挙

2022年12月25日投票

加藤涼子 現 2757票 3位 当選  
後藤優子 現 2533票 6位 当選  
定数28 立候補者40 投票率38.66%

## 2023年頭に寄せて 地域からつくる 人権・平和

東京・生活者ネットワーク代表委員 山内玲子・小西みか・渡部真実  
ロシアがウクライナに侵攻し始めた戦争は一年近くが経過し、国内では防衛力強化のためと称した財源確保や増税案が浮上しています。原発政策も、あつてはならない方向転換の様相を見せ、12年前の反省はどこにいったのかという状況にあり、日常生活ではコロナウイルス感染症の脅威はまだ続いています。

新たな年、2023年が明けました。「政治は暮らしをよくするための道具」、このことを改めてかみしめたいと思います。生活者である私たちが、議会に普通の市民を送り出し、政策とともに練り上げ、ネット議員を通して提案してきた45年の歴史を引き継ぎ、自治する市民を増やし、足元から人権・平和の大切さを発信していかねばなりません。  
東京・生活者ネットワークは25の地域ネットに40人の候補予定者を擁立し、2023年統一地方選挙に臨みます。

Information

都議会REPORT



東京都こそ人権を基盤に置く政策展開を！

東京・生活者ネットワーク都議会議員 岩永やす代 [国分寺市・国立市]

原発いらない金曜行動

1月20日(金) 18:30~19:45 (第3金曜日) 首相官邸前(国会議事堂前駅、永田町駅) 発言予定: 鎌田慧、落合恵子 市民の3分スピーチリレー 「原発いらない金曜行動」実行委員会 https://nonukes0311.blog.fc2.com/

講演会 大軍拡が平和と暮らしを壊す 軍拡よりくらしの底上げを!

1月21日(土) 14:00~ 北とびあ7階第2研修室(JR王子駅) 講師: 飯島滋明(名古屋学院大学教授:憲法学、平和学) 500円 戦争やイヤだ!北区ネット 090-6798-2153

1・27「建白書」10年 日比谷野音集会

1月27日(金) 18:30~ 日比谷野外音楽堂(霞が関駅、日比谷駅) 集会後銀座デモ行進 辺野古の海を埋めるな!政府は沖縄の民意を尊重しろ!オール沖縄会議呼びかけの「辺野古新基地建設断念を求める国会請願署名」に取り組もう! 「止めよう!辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会 https://humanchain.tobihiro.jp/

難民問題や人種差別をはじめ、人権問題は世界共通の課題となつています。サッカーワールドカップカタル大会でも、スタジアム建設にあつた外国人労働者への過酷な扱いや性的少数者への人権侵害などが大きく報道されました。日本はこうした問題に概して鈍感です。人権条例を持つ東京都でも、同性パートナーシップ制度や多様性の尊重をうたっている一方で、外国人との共生や地域とともに学ぶインクルーシブ教育の遅れが指摘されており、早急に共生社会へと変えていかねばなりません。

12月に都内で生活困窮者の支援を行う14団体が年末年始などにおける困窮者対策の要望を東京都に出しました。年末年始に住居を喪失した人へのビジネスホテルの確保、各市区で生活保護申請や相談を受けられる窓口開設など、寒さが厳しくなる時期に物価高騰も重なって命にかかわる深刻な問題であり、早急な対応を求めました。さらには年末年始だけでなくNPOなどと連携し、都営住宅の利用も含めて困窮者の住居を確保し生活を支援するよう求めました。

人権プラザ企画展の映像作品上映中止問題

東京都人権プラザで開催した企画展で、関東大震災での朝鮮人虐殺に触れた映像について、人権部が上映を認めない決定をしました。人権部が人権プラザを運営する人権啓発センターに宛ててメールを送信、都知事が朝鮮人追悼式典に追悼文を出していないことに付度して、虐殺を否定するようなコメントを載せたことは歴史的



都議会超党派で都知事宛に「年末年始などにおける住居喪失者の支援について」の申し入れ。左端が岩永やす代。2022年12月14日

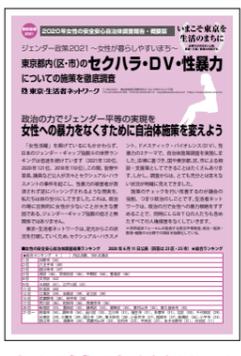
実の歪曲であり、あつてはならぬ大きな問題です。人権部は、東京都の人権施策を担当する要であり、あらゆる差別を根絶するために何よりも人権を優先すべきです。脱原発・再エネ推進を東京都から! 日本初、太陽光発電設置義務化へ

ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー危機を理由にして、あろうことか、日本政府は原発の再稼働ばかりか運転期間延長や新設もすると大きく方向を変えています。国民議論を置き去りにして福島原発事故を忘れたかのような方針転換は、許されるものではありません。原発施設そのものがウクライナでは攻撃対象となり、安全保障の面からはむしろ危険です。国内で調達できる再生可能エネルギーは、

オリピック疑惑の解決なしにビッグイベントはあり得ない

生活者ネットワークは、商業主義で金まみれのオリピックの開催に反対してきました。東京大会から1年、不祥事が噴出していきます。都は談合だけを対象に、内部の調査チームを立ち上げましたが、結果は期待できません。第三者委員会による徹底した説明と清算法人が保有する文書の保存を求めました。札幌招致も揺れています。巨額のマネーが動くスポーツイベントは、疑惑解明と情報公開・透明性の確保なしにはあり得ません。

訂正: No.374(2022年11月1日号)の1面「今いまNOW」左段、下から5行目54行目、「子どもたちの被ばくによる甲状腺障害の手術は300人を超している。」を「子どもたちの被ばくによる甲状腺障害の悪性疑いは300人以上。」と訂正します。



昨年10月にはじまった法制審議会「刑事法(性犯罪関係)部会」による試案が先月示されました。東京・生活者ネットワークは2020年10月に「刑法の性犯罪規定の見直しに関する要望書」を国に提出しています。その際に要望した9つの項目については、一定の前進は見受けられるものの、要件があいまいであったり、明確な規定とはなっていないものもあり、十分とは言えません。特に強制性交等罪の構成要件は見直されたものの、「同意」のない性交等は性犯罪とすることが見送られたことは、非常に残念であり、再検討を求めます。

被害者が声をあげるフワラーデモに連動し、毎月フワラー遊説を行い、街頭で女性への暴力をなくそうと呼びかけています。その折に、立ち止まって涙ながらに自らの体験を話してくれる女性たちとも出会ってきました。性暴力を受けるほうが悪いという社会の風潮が被害者を追い詰め、助けを求めることもできず、心に鍵をかけて生きていかざるを得ない人がいます。要望書を提出後、生活者ネットワークが求めていた女性自立支援法は制定されましたが、被害者の自立支援につながるしくみはまだ希薄です。悪いのは加害者であり、被害者に「あなたは悪くない」というメッセージを、法的にも、社会的に受け止めてほしいと求めます。このたびの試案を受け被害者団体等から提出された要望や寄せられた声の一つひとつに丁寧に耳を傾け、さらなる審議を重ね、真に被害者が救われる改正となることを強く求めます。 2022年11月15日 東京・生活者ネットワーク

刑法の性犯罪規定の見直し試案を受けて被害当事者の声を反映した法改正を!



編集後記/生活者ネットワークが東京都練馬区でうぶ声をあげてから丸45年、46年目の新年が明けた。長引くコロナ禍を背景に低迷する経済活動、ロシアによるウクライナ侵攻がもたらした世界規模のエネルギー供給不足、急激な物価高騰...と、政治・政策課題山積の2023年。だからこそ、私たちの暮らしの現場・地方自治体の政治の質が問われるのだと思う。/「環境・福祉優先」「原発ゼロへ!今ある原発は段階的に減らす」「まちづくりの主役は市民」を掲げ活動を始めた初期、「生き方を変える・生活者ネットワークの政治」を前面に打ち出し、「政策転換 子育て・介護は社会のしごと」を、また、社会的につくられたジェンダー発想に掉さし「個人単位の社会保障・年金制度」の必然を提起した中期を経て、今日の、2023年統一地方選挙基本政策に結実した。スローガンは、「私らしく生きるための政治」。子ども・若者が、男も女も性的少数者も、在住外国人も、障がいの有無にかかわらず一人ひとりの命と人権が最も大切にされる、そういう当たり前の環境・社会システムを実現するために、各地で真摯なネット活動が展開されている。/次号生活者通信(2023年2月号)では、市政・区政に果敢にチャレンジするネットの全候補予定者の横顔を紹介します。ご期待ください。(加藤)